

## [02\_02]九州大学情報基盤センター広報 : 学内共同 利用版表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/1470499>

---

出版情報 : 九州大学情報基盤センター広報 : 学内共同利用版. 2 (2), 2002-07. 九州大学情報基盤センター  
バージョン :  
権利関係 :

## 編集後記

今年の6月は、なんとなくワールドカップ一色になっていた様に感じます。普段はそれほどサッカーに興味がある人も、メディアの報道でサッカーファンになっていた人も多いのではないのでしょうか。かくいう私もその一人です。たまたまチケットを入手出来たので、実際に試合も見に行きました。TVで見る場合と、会場で見ると随分印象が異なりますね。さすがに世界のレベルは高く、すばらしいプレーの数々を見る事ができました。ただ、普段見ていないため、どのくらい凄いのか、どんな選手がいるのか、などが分からない場面もありました。幸い一緒に見ていた人がサッカーに詳しい人だったので、色々教えて貰いながら見ていました。スポーツを通じて世界の人々が楽しめるのは良い事だと思います。

丁度同じ頃、福岡ではRoboCup2002が開催されていました。RoboCupは2050年に人間のチャンピオンチームに勝つ事を目標にした、ロボットによるサッカー大会です。今年度から二足歩行ヒューマノイドリーグも始まり、昔TVや漫画、小説などで見ていた世界が、現実に近い付いてきていると感じさせるイベントでした。ロボットが人間に近い行動を取れるようになるのか、とても興味があります。RoboCupを見に来ていた人は子供連れの方が多いの印象的でした。ロボットに将来の夢を感じている人は多いのかもと思いつつ、楽しませて頂きました。

(E.I.)

約半年前の昨年十二月初旬、たまたま三日連続して一万歩を越えていたため、「一日一万歩歩こう！」と目標を立てました。ジョギングでもなく、ウォーキングでもなく、散歩は好きなため、何とかなるだろうとたかをくくっていました。

ところが、始めてみると、継続するのは簡単ではありませんでした。中央区の住まいと職場を寄り道せず地下鉄で往復すると、4,000歩程度にしかならないからです。調子のいいときには、夕方歩いて帰って7,000~7,500歩を稼ぐことができます。しかし、天気のいい日に自転車通勤したり、雨が激しくて地下鉄に乗らざるをえない日には、かなりの不足分を抱えることになりました。おまけに、使っている万歩計は、「6回以上の連続した一定の振動を検知したとき6歩歩いたと見なす」という基準を採用しているため、部屋でちょこちょこ歩き回ってもほとんど歩数は増えません。

そこで、十二月中頃に、目標を「一日一万歩、万歩計の数値を一万にしよう！」に変更しました。万歩計を手を持って振り回すのはさすがに反則ですので、「足踏み」で不足分の歩数を稼ごうという作戦です。

電車待ち、信号待ち、飲み屋の前での待ち合わせ、競馬の発走待ち、動作が不安定な計算機の再起動時など、普段ぼや~と待っている時間を利用して、爪先立って「いちにっ、いちにっ。」と足踏みをします。最初はまわりに不気味がられるものの、人間すぐに慣れるもので、最近では「すばらしい。私も何か運動をしなければ。」と言われることもあります。ただし、一緒に「いちにっ、いちにっ。」をしてくれたのは、一才半の知合いの子供を含めてこれまで二人だけです。

しかし、廊下やホームでべったり座り込むのに比べれば、重力に抗しているだけ偉い、という根拠のない理屈をつけて歩数を稼ぐ日々です。

(でも、2kgやせました♪)